

インターネット対応型次世代物流 E D I 標準および 「次世代物流 XML / E D I」導入の手引きの改訂版を公開

社団法人日本物流団体連合会 物流 E D I センター

(社)日本物流団体連合会 物流 E D I センターは、このたびインターネットに対応した次世代物流 E D I 標準の改訂版『「物流 XML / E D I 標準」 Ver01-05』を開発し、平成 22 年 3 月 31 日より物流 E D I センターのホームページに無償公開いたしました。

また、同日に『「物流 XML / E D I 標準」導入の手引き (第 2 版)』を同ホームページに無償公開いたしました。

先進的な荷主業界では、インターネット対応型の業界 E D I 標準を開発していますが、その対象を受発注業務から物流業務へと拡大しつつあることから、物流 E D I センターでは、荷主業界ごとの異なった次世代物流 E D I 標準が乱立することを防ぐために、いち早く「物流 XML / E D I 標準」の開発に着手し、毎年バージョンアップを行ってまいりました。

「物流 XML / E D I 標準」は、これまでのバージョンアップにより、基本的な物流業務には支障なく適用できるものとなっています。

「物流 XML / E D I 標準」は、従来型物流 E D I 標準「J T R N」(ジェイトラン)の資産を継承しており、J T R N から「物流 XML / E D I 標準」への移行、そして両者の併用が容易にできるようになっています。また、インターネット対応型 E D I の国際標準「e b XML」に準拠しており、グローバルな取引に容易に拡張できます。

また、「物流 XML / E D I 標準」のメッセージは XML 形式で記述されているため、表計算シート、PDF などの電子文書のなかに組み込むことが可能であり、この電子文書を電子メールに添付して送受信することにより、標準メッセージの交換が容易にできます。

経済産業省では、平成 21 年度から (財)日本情報処理開発協会の協力の下に、中小企業が異なる業界標準 E D I との間でも同一の手順でのデータ交換を可能とする「ビジネスインフラ整備事業」に着手し、「業界横断 E D I 仕様」の開発を行っています。

「物流 XML / E D I 標準」は、この「業界横断 E D I 仕様」の物流版のベースとして活用できるものとを期待しております。

多くの企業では、Webサーバを使用した独自手順による Web - E D I を次々と導入しています。この Web - E D I は、サーバ側企業 (主として大手企業) では業務の効率化は図れるものの、クライアント側企業 (主として中小企業) では取引先ごとの入力画面を使い分けなければならない (いわゆる、多画面現象) だけでなく、社内に電子データがあるにもかかわらず再度手入力しなければならないなど、負担を強いられる弊害が顕在化してきています。このため、下請法 (下請代金支払遅延等防止法) を適切に運用するために政府が業種ごとに作成している下請取引適正化ガイドラインの改訂版に、下請法に抵触する恐れがある事例として Web - E D I が記載されました。このような問題を解決する手段としても「物流 XML / E D I 標準」が活用できます。

物流EDIセンターでは、「物流XML／EDI標準」に対するご意見を利用者から公募し、引き続き改良を図っていく予定です。また、上記の「ビジネスインフラ整備事業」の動きを見つつ、荷主業界の業界標準EDIとの整合性を確保するための検討を進めていき、物流業界のみならず荷主業界を含めた全産業界のための標準確立に貢献していきます。

今回公表した「物流XML／EDI標準」改訂版の内容は、以下のとおりです。

1. 標準名

「物流XML／EDI標準」 Ver01-05

2. 標準のダウンロード先（無償）

<http://www.butstryu.or.jp/edi/>

3. 主な改訂事項

- ①集荷情報ビジネスドキュメントの追加
- ②集荷情報に関わるプロセス定義書の修正
- ③在庫差異報告情報（明細型）ビジネスドキュメントの追加
- ④在庫差異報告情報（明細型）に関わるプロセス定義書の修正

*【Webサーバ】

Webサーバは、Webブラウザなどのクライアントソフトウェアの要求に応じて、インターネットを通じて、情報を送受信するコンピュータまたはソフトウェアのことです。

*【XML／EDI】

XML／EDIは、XML言語で記述したドキュメントを、インターネットを介して送受信するEDIのことです。

*【e b XML】

e b XMLは、次世代XML／EDI標準の国際規格です。
すでに主要な規格がISO規格として制定されています。

*【JTRN】

JTRNは、日本における物流EDI標準の統一版です。
物流EDI推進委員会が開発・改良・維持管理を行っています。
物流EDI推進委員会の事務局は、社団法人日本物流団体連合会 物流EDIセンターと社団法人日本ロジスティクスシステム協会が共同で担当しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

■報道に関するお問い合わせ

社団法人日本物流団体連合会

物流EDIセンター

TEL：03-3593-0139

<http://www.butstryu.or.jp/edi/>

■標準の内容に関するお問い合わせ

鉄道情報システム株式会社

第二営業企画部 営業開発課

TEL：03-5371-0194